



易經解
二

服部文庫
イ17
/ 22
2



易經俚解卷之二

土肥貫雅述



三三
坤上

泰ハ通ナリユタカニユキワタルヲ謂フ天地交テニ氣通スル
ノ義ナリ天上ニアリ地下ニアル正キカタチナレト交テユキワタル
体ニアラス此卦コレニ及シテ純陽下ニアリテ先々純陰上
ニアリテ後シ三剛ニ柔一及モ心セサル久ク陽性升リ陰性降
リ相交テサシツカヘシ又内剛直ニシテ外柔順君子内ニ尊
クニテ政ヲナシ下民外ニ賤クニテ順ヒキク及ヲ以テイハ六五ノ仁
君上ニ主トシ九二剛中コレヲ助テ泰ノ世ニ立タリ如此ナル豈
天下ノ泰平ヲラスヤ故ニ時ヲ以テハ正月卦トス

泰小往大來吉亨

小柔ナリ、坤純柔ナルヲ謂フ、大剛之乾純剛ナルヲ謂フ、小
人外へ出レハ難ナク、大人内へ來レハ道行ハル、此象ヲ推サ、萬物
類ニ觸レテ、十知レシ人ノ体取レハ外瘠ルトイヘ、内肥タルハ
身ノ泰ナリ、又古人ニ取レハ、伊尹、呂望、人有莘、涓濱ニ在ルカ外ハ
農夫、釣翁ナレ、内盛ニテ、天下ノ善ナルカ、知時ヲ以テ言ハ、
陰極テ十一月ニ一陽生シテ、復上リ、十二月ニ三陽生シテ、臨トナリ、
正月ニ至テ、三陽ニシテ、泰トナルコト、陰往テ、陽來リ、物ヘタクニ
ナラス、キワタリテ、サニツカヘナリ、泰平ナルモ、ヤフナリ、コレ皆亨ルノ
義ニ吉ナルヲ知ルヘシ、○内ニアルヲ以テ來トイヒ、外ニアルヲ以テ
往トイフコト、虚象ニシテ、實象ニアラス、折衷此義ヲ取ル、從ハ
ス、アルヘカラス、換ニテ、ク此義ナリ、○国邑、城郭、隍池、草木、

平野、君子、庶民、男女、車輿、牛羊、良馬、君子連リ

進ミ、小人退キ、去ル上惠アリテ、下懐ク、財散野、民聚ノ象、

○此卦、茅土ニ出ルモノ、大乾坤最初ニ在ル、易中ノ大父母
ナリ、泰否ハ小乾坤ノ体、全ク上下ニ具シ、以テ又十卦ノ父母タリ、

初九、拔茅茹、以其彙、征吉

茅ハ根ノ一ツキニ連ルモノ、コレヲ拔クニ、モト、拔揚レハ、多ク連リアカル、
此卦三剛下ニアリテ、相連リ進ム、古者剛徳ノ君子ナラハ、應
アリテ、上ヨリ我ヲ拔アクルニ、同類ノ友ニナ相連リ進テ、泰平
ノ至事ノナサン、以其彙、征吉ナルヲ知ルヘシ、○拔ハ上ニ、四近臣ノ
應援ヲ謂フ、世方ハ震ナリ、三以下地下ニ連ノ根トス、乾連ノ
象、今特ニ取、初外ハ根トス、初賢ニ、心接ニ就テ進ムヲ、往ト
云、豈吉ナラヤ、易象發揮ニ詳カナリ、拔ト、征ト、字相テ、

九二包荒用馮河不遐遺明亡得尚于中行

永

剛ニシテ陰位言サ下ノ中ニシテ六五ノ君ニ心ス泰ヲ主テ中
道ヲ得タルモノナリ其泰ノシカクテ衆ク持ツタヘテ國家ノ
景福ヲ致スヘシソレニ箇條ヲ立テ四ノ仕様ヲ教ヘテアルニ包
荒包ハカ子イルナリ其荒ハアルトヨミテ行儀ナク心モサマクニ穢
レタル人ナリコレヲハ四夷ニ退ケテ我中國ニ安置ヲカヨミサレ氏天
下ノ泰平ヲ致ス者ハ心挾クテハナラズホトヲレヲ受イレヨ是位
ノ陰ヲ用ヒタモノニ用馮河トテ詩經ニモアル如ク河ヲカキ涉
リス其勇ナルヲ以テ死シテ悔ナキ人ナリ如此ノ人カウモ捨スニテ
用フヘク身ノヲ取レ強有カタ以テ事ニタユマス中道ニ處セス
何ヲ取サハキテモサツハリトワケヲタツコレ又ノ剛性ヲ出シテ用ヒ
タモノニハ不遐遺君父ハ臣子ノ應ナリタトヒ至ニ隔テラレテ

遠キニアリ氏忠孝ヲ忘レテハ己カ天職ヲ缺ク故泰ヲナスニ由テ
シ我身ニ取テハ眼前ノコトハカリテナシ遠キ昔ノ事ヲ追ヒ聖賢
ノ道ヲ學ビテ前車ヲ見テ能ク其身ヲ慎ミ後車ノ戒ノ鑑
ニシモノナラフニ未來ノ百世モ又知ルヘシコレ中ノ智ヲ用ヒタモノ四
ニハ明亡トテ不正ノ明黨ヲ散シテ私ノ親ミナク臣位ニ在テ事
ニエコヒイキナリ天下ニイニトク聞ヘテモ羞カシカラズヤフニ公道
ヲ以テ取サハキヲナスコレ又位ノ不正ヲ戒クモノ如此ナルトキハ行
ヒ中ニ稱テホトヨキ君子ト謂フヘシコレ泰平ヲ失フワアルニ
コレ即チ此又剛中ノ德行ナリ○第一句初剛位外車下ノ
民ニ當ツ弟ニ命勇壯群ヲ出ル者九三過剛當ツ弟三ノ句
柔順中ニアルニ命守位弟四ノ句下哉連ノ剛正初三共當ツヘシ
我モシ又位ノ不正ヲ以テ交ルナク彼自ラ正シトイハ氏必不正ヲ以テ

來其明黨トナル故ニタコレヲ戒ム
九三无平不波无往不復艱自无咎勿恤其孚于食
有福

泰中ヲ過テ占ニサニ來トス平トモハ必ス波中往クモノハ必復ル
天ノ道ナリ今出入ノ境ニシテ、阴阳相交ルノ處モシ過剛ノ性ニ
隨テ一步モ進守ハ否忽テ來ル往復ハ即チ卦ノ小往大來ナリ
既小往テ泰トナレモハ中ヲ過テ小ニサニ復トスコレヲ保ツニハ
艱難ニセ子ハナラヌ貞ハ正ナリ艱難ナラサレハ咎アリ勿恤如此
スル者ハ其孚アリテ天ヨリ福ヲエニ能ク旧徳ニ食テ泰ヲ失ハサ
ルニ一步モ進ムコト勿レ○平ハ坤波ハ兌爻揮ニ詳ナリ往復ハ
乾坤内外出入ノ象且三上共ニ復ノ假象ニシテ恤ハ兌ノ孚ハ剛
昼湯位食ハ兌口下ニ在テ坤穀甘味其口實ニハ兌ノ象福ハ

即チ泰ニシテ卦ノ吉亨ヲ謂フ小人貪乱目前利ニアス
六四翩翩不富以其鄰不戒以孚

中ヲ過テ泰既極リ三陰ヒラクトヒカヘリ落ツ小畜五ノ如富
其鄰ハ常ノイコレハ陰卦柔且陰位ニシテ阳气ナキヲ以テ不
富トイフ貧ナレモノハ其鄰家ニ戒メヲナシ用ヲ言外テモ從ヒ用
ヒヌモノナルニ類物ニ十從ヒ來リ制セサレニ符節ヲ合セタル如
六四持前ニヒト合テ氣ニ介故ニ不戒以孚ト云フ小人又
リヲ結テ泰ノ世中ヲ過トテモ保ツハカラストシテ怠リ荒レ
綱紀頽廢スルモノナリ君子コレニ値ハ亦自ラ賓主ナリ深
ク慎テ害ヲセクヘ○翩翩トコニテハ輕落ソ兒ニテ花葩木葉
ナトノ風ニアフテ飛フモヤフス震木兌秋ヲヒ泰波テ否トナレハ
暑往キ寒來トスル寸ナリ況ヤ初ノ荒野ニ落ルヲヤ六四

葩

象柔ノ魁タリ、五ノ帝女下リ嫁シテ六ノ國家西復亡ノ時ニテ城
復于隍ヤツヤルニ十洛ハ、翩々トイフ、字ハ約束ノ合フヲ謂フ
三四トモニ字字ヲ置クヲ知ルニ泰ノ進退スルモノナリ。○泰否
ハ倒象ヲ取レリ、泰ハ四以上否ナリ、否モ亦然リ、吉凶相乖テ
互ニ至ルモノナリ、諸卦此義アリトイヘ氏其著ク急ナルヲ泰否
ノ如キハアラシ、泰否古用ニ於テ最モ活斷アリ、家説余カ授
餘古言ニ述フ、

六五帝乙歸妹以祉元吉

泰ノ世ノ君中ニイテ柔之己レヲ虚ニシテ九ノ賢ニ心ス祉アリ
テ大善ノ士早ルヲ知ルヘ昔殷ノ末帝乙ト云フ天子妹ヲ賢
臣ニ下シ嫁セシメ玉フノ象ナリコレ紂王及微子啓ノ父ナルヲ左
傳及史記殷ノ本紀ニモ見分リ、泰既ニ中ニ過テ下ニ傾ト

スル時ナレハ賢君心ヲ下ニシテ臣ニ委任シ臣則徳ヲ以テ其君ニ
事ヘ其世ヲ維持スルヲ以テ一時一夕泰ヲナクコレ祉アリテ元吉
ナルニアラス。○帝乙ハ爰揮古ノ部ニ見フ、歸妹ハ中四支雷澤
ノ象ナレハ中体ニシテ假象ナリ故或ハ雜象トス位ヲ以テイ
ハ五ヲ君トス剛柔ヲ君臣ニ分ツ寸ハ剛ヲ以テ君トス今君位ニ
シテ柔ナレハ象ヲ帝女ニ取ル位ニ居テ中ヲエタリ、女賢
ナルモノナリ、然レハ父母コレヲ嫁スルニアラス君其妹ヲ下ニ嫁ス
時既ニカクレテ已ムヲエサルノ意又泰ノ末ニシテトモ長久ナ
ルカラサルモノナリ、元吉ハ陽中ヨリス、

上六城復于隍勿用師自邑告命貞吝

城下ニ水アルヲ池トイヒ水ナキヲ隍トイフモト堀ヲ深クホリ
其土ヲ高ク築アケテ郭ニシクモノ其城崩シ隍埋ハ高キ所ハ

低クナリ深キ所モ平地トナリ跡形モナクナルコレ行ツリテ不口ト
ナルモヤフナリ勿用師トカヲ以テ争ウヘカラストイフ義我自邑告
命ト先ツ其知行所ヨリ命ヲ傳ヘテ已レヲ慎ミ国家ヲ守ル
ヘ之如此セハ或ハ傾西復ノ告ヲ免ルコトアラシ身ニ取レハ我心工命シ
テ子簡ヲ立ナラシ身持ニ箇條ヲ立オキテ言行ヲ慎ミ城モ
全フニテ泰ヲ持コタヘシカクナル世ニ師ヲ用レハ却テ否ルホトニタ自ラ
守ルニ利アリ君臣心ヘタクニナリコレヲ怒テモ威勢力量テハ從
ユルハナラヌ周漢衰世ノ如シ人ハ城ヲ取立其功ヲアラハニテ福
ヲ子孫ニ傳フヘキニ古キ家ヲヤフヤリニ持コタフルハタトヒ正キ
ナリ氏蓋之ヲ免レカタシ○城ハ乾石兌澤震樹坤象大畜
象ノ象アルニ似テ異ナルモノナリ隍ハ兌澤アリテ水ナシ六四柔
ニニテ陰位ナルコトナリ師ハ乾戰坤象震感兌殺ナリ並ニ柔

揮ニ詳カナリ皆全卦ノ象ニシテ一タ變象アリ邑ハ卦ニ取レハ坤文
ハ三ヲ邑トスコレ兌口ナリ故ニ告ト云フ此文一ハ倒象ヲ取ル轉
例ニテ否初トナル時ハ城郭西復亡シテ坤土羊地トナルコレ君
民相離レ天地否レリ又意最モ味ヒアリ察ヌヘシ今タ大
畧ヲ載ス○此卦初四生植ヲ以テ言ヒ二五人事ヲ取リ三
上時運ヲ以テス卦タ泰ニ處ルヲ難シコレ後凶ヲ含テ否ト
ナラントスル執カニテ四以上即チ否ナリ況ヤニタ上又ニ於テヤ

三三坤下
三三乾上

否ハ閉塞ナリ泰ノ反對ニシテ義亦然リ陰下ニ居テ退
キ下リ陽上ニ在テ動キ升ル故上下別ニナリ意キワタラス
天地正ク居テ交ラスニ氣通セサルモノ又ヲ以テイフ氏亦然リ
三剛ニ柔其氣升降セズニナレクニナルニ

否之匪人不利君子貞大往小來

之匪人三字多義アリ朱說人道ニ非ストス一說ニ比ノ六三ヨリ
誤リ來ルトス或云泰ニ耳ニ目ニ鼻ニシテ人ノ形ナルニ否ハ其反
ナルヲ以テ匪人トス愚謂フ否人ノ一體ニ取ルハ氣血分離卦
ナリ且其形外肥ルトイヘ凡内實ニ瘠セタリマサニ夕アルキノ人
ナリ故ニ匪人トス己ムヲ得スハコレヲ取シ先ツ朱說ニ從フヲ
是トスヘシ君子出小人來ルノ時ナレハ君子ノ正道行ハルヘカラス
故ニ不利君子貞トイフ今國家道ナキニ當テ夕ニ五正道
ヲ守ルトイヘ凡他ニ十不正ニシテ國道ヲ行フヲ能ハス時ヲ以テ
イヘハ七月ノ卦ナリ五月ニ二陰生シテヨリコ、ニ至テ三陰人
氣縮マリテ悲ミヲ催シ秋聲ヲ聞クニ夕(天)

初六拔茅茹以其彙貞吉亨

否時ニ當テ一類連リ進ニ從テ背カサルノ象能ク戒テ正キ
ヲ守リ以テ上ニ事ル寸ハ吉ニシテ亨ルシ○拔茅茹ハ泰初二
ヨリテ係ル辭初ハ物ノ基本故ニ根トス拔ハ九四艮茅ハ巽
ナリ大過初ト同シ今平地並生ス坤ノ象ヲ兼又發揮ニ詳カナリ
貞吉ハ泰初ノ征吉ト異リ陰ハ守ルヲ道トス能ク守テ正シキ寸
ハ否ノ時トイヘ凡亨ル征吉ハ時夕得應ヲ得テ進ムフレ陰陽ノ異
ナルナリ一說ニ下卦三柔小人惡ヲナストス今取ラス又ハ卦ノサハ
キニ異ナリ三柔トイヘ凡又皆君子ノミ折中コレヲ取ル余亦コ
レニ從フ

六二包承小人吉大人否亨

坤順中正上ニ包容承順コレヲ包承ト云フ君子マサニ如此十
ルニ小人ハモトヨリ包承スヘキモノナリ故ニ吉トスモシ大人ニ

物 得ハ其否ヲ安ニシ守リ、時ノ否ニ抱ラスシテ、能ク勉ムル時ハタトヒ

自ハ否ルトモ其道自ラ伸テユク、孔子微服過宋ヲ象○包字下

ニ速テ承字夕、臣道ナレハナリ、大小卦ニ就テミレハ乾坤ナリ、

然レ氏今テ又ニヨリテ、小ハ柔ヲ謂フノミ、大人象義發揮ニ詳カ

ナリ、コトニテハ、又ノ中正ト坤ノ卦象ニヨル、

六三、包羞、

羞ハ耻辱ナリ、柔不中正ハツキアリトイヘ氏、包テ以テ上ニ事

フ其包ム所ヲアラハサス、早ク変革シテ、公正ヲ専ラニセハ、羞各ヲ

免ルヘシ、位ノ陽ニ引立ラレ勤ケハ必包ミエス、占ナキ所以ナリ、○

包ハ婦人盈姓ノ義ニ起テ、胞ノ古字ナリ、天ノ覆ヒ、地ノ載スル皆

包ムノ義ナリ、蒙泰否並ニニ於テコレヲイフ、剛トイヘ氏ニ

ハ地ナリ、母ナリ、且卦ノ中ニアリ、坤ノ含括ニ似タリ、包容ハ包藏

ヨリ、一轉スルモノナリ、別義ニアラス、今坤象ニヨル、又巽ニ包ノ象

アリ、姫ニ見フ、故ニ此又或ハ中巽、又ハ厚昼ノ配ニ取ル、皆通ス、六三

否レル世必、鬱結ヲ開クヲ能ハスニテ、上ニ事ルモノナリ、

九四、有命、无咎、畴離祉、

否中ヲ過テマサニ濟ントスルノ時ナリ、一卦改革、天命改マラント

ス、否爻シテ、泰トナルノ始ナリ、故ニ福ヒアリ、ニテ无咎我ニ類

マテ、ミナト祉ヲ受ク、○命或ハ君命トスルモノ通セサルニアラス、

然レトモ、經書多クハ天命トス、詩云、周雖舊邦、其命維新、意

卦ニアリテハ巽ナリ、發揮ニ詳カナリ、

九五、休否、大人吉、其亡其亡、繫于苞桑、

剛中正ニシテ、尊位ニアリ、時ノ否ヲ休ムノカアリ、大人吉トイ

ヘハ、小人當リカタキノ意、苞ハ叢生ナリ、桑ハ枝葉ノシケキ木之

君ニシテ剛中正トイヘ凡否ノ世ニアレハ其亡ンコトヲ恐レテ勉ヲ
シケクスルコト柔ノ叢生シテハヒコル如クスレハ否ヲ休テ泰トナス
ヘシ繫ハ心ニ係キトムルヲ謂フ物ヲ苞柔ニ係ル如ク心ニ國家ノ政
典ヲ放タス戒メ慎ムヲ謂フ時日害喪トフ者ハ泰ニアリトモ必
亡フ○休ハ剛健中正ノ美徳ヨリ出ツ大人亦然リ其亡以下戒辭
ナリ聖人戒ヲナスコト深シ繫ハ巽繩ノ象苞ハ繫辭包ニ作古
字通用繫字ト同ク始ニ出ツ巽ナリ蓋泰ハ三以上復ナリ
否ハ三以上始ナルヲ以テナリソレ柔ハ四木ノ一ニシテ五畎ノ宅外ニ
植ヘ初復新樹ヨリ盛ニシテ其穉キモノハ柔柔女柔ト云テ皆
女功ヲナシ民ノ天職ニ供スルモノナリコレ全卦三以下ハ根三以上
高大茂盛ノ木厚巽ノ象女功成テ衣裳ヲ作ルコト亦乾坤ヲ
衣裳トスルノ象ヲ含ム

上九頌否先否後喜

剛ニシテ否ノ終リニ居柔弱ナラス時ノ否ヲ頌ケ泰トナスカア
リ休否ノ天ノト相似タリ故ニ頌字句頭ニ置テ頌否トイフ物
極リテ変スルハ天ノ常ナレハ時マサニ濟フニ足レリ自ラ勉テ泰
トナサハ豈悦ハサランヤ○頌ハ泰三ノ破ト同ク自ラカアリテ能
ク勉メ一步モ動ケハ忽泰トナル此又倒象ヲ以テミレハ先ニハ
天地懸隔シテ二氣通ヤストイヘ凡後ニハ萬物ノ通泰ヲ得タリ
○十乾坤進退スカノ象譬言ハ八月ノ晦朔ノ如シ否上除夜忽
変シテ正朔ニ移リ小往大來吉亨ナルモノナリ又或ハ変
象ヲ以テミレハ變兌喜フトス亦通ス

三三 離上 離下

離ハ麗ナリ一柔坤ヨリ來テ二剛ノ間ニ麗ク又一女二男ノ間

ニアラハ何レニハツクヘキナリ、又其卦休ニ君一民其益數偶ナリ、且一柔ヲ主トスレハ陰卦ナリ、女ノ象ニ生シタレハ中女トス、其象火トシ、日トシ、電トス、火ハ水ニ反シテ、体柔ニシテ、其働剛ナリ、内暗久外明ラカニ就燥ノ性ナレハ、動キ上リテ、天徳ト同ク、物ヲ照シテ、明ラカニ其アヤヲ別ツ、故ニ其徳ヲ麗トシ、文明トス、同人トハ與人同スルナリ、火ハ升ルモノナレハ、升テ天ニ同ク、其徳相者ラス、日常ニ天ニ麗テ、昼夜相共ニ西方ニ轉廻シテ、萬古墮ルヲナキノ象、故ニ同人トス、又六ニ位ヲ得、中ヲ得テ、文明ノ主ナレハ、君子ノ象ナルニ九五剛健、中正尊位ニアリ、君臣相應シテ、其徳也トシ、又卦タ、一柔ニシテ、五剛同リコレニ與シ、人ト相共ニスルニ、五剛モトヨリ、君子一柔暗小、定レル小人ナルニ、今此卦ニ於テハ、中正ヲ得テ、シカモ、一々文明ヲ主ナリ、君子ニ

アラスシテ何ソヤ、六爻同ク君子ノ故ニ同人トイフ、

同人于野、亨、利涉大川、利君子貞、

干野トハ、今ト同スル處ヲ謂フ、野ハ曠遠ニシテ、私ナキノ地、戸内ニ或ハ人ノ見サルニ私アラフニ、野ハ少シノカクレカモナク、天地ノ間ニ於テ、天ノ蓋フヲ廣ク、日ノ廻ルヲツカユルヲナク、私スヘキノ地ナシ、サレハ、天ヲカタトル處ニ、郊トモ、野トモイヘリ、コハ、天ト日ト同徳相與シテ、サシツカヘス、亨ル象ヲ謂フ、如此私ナク、文明以テ、健カニ行クナレハ、大川ヲ渡ルニ、氏アフナキヲハナシ、見合テ、公用ヲ濟ラシムカラス、内文明ニシテ、外剛健ナルモノ、中正ニ居テ、又中正ニ應スルハ、君子ノ道ナリ、故ニ其同フスル所、君子ノ貞ヲ以テ、君子ノ貞ニ同スヘシ、○天日ヲ見ル、一野ニシクナシ、且私ノサシツカヘナク、亨ルヲ取ル、又乾ニ

野ノ象アレハ之卦象如此ナルニ剛健文明ニ五剛柔相應シテ
擗共ニ中ヲ得故ニ亨テ又涉ルニ利アリ全卦中虛舟積ノ象且
天氣和煦順風ナルニ麗テ健カナルニ取ル○天日郊野風雲
戈鳥獸草木里門大川旌旗甲冑將軍武人文戟
馬牛糧草アリ

初九同人于門无咎

人ニ同フスルノ初私ヲハナレテ公々ニ同セントス剛正ニシテ係
カル應及ナシ宜ク咎ナカルヘキモノナリソレ門ヲ出テ接
ルモノハ私ノ親ニナク天下大同スヘシ今内外ノ衆ナル門ニ於テ
交ルニ身外ニ向テ既戸庭ヲ出レハ私スヘキノ處ニ非ス故无咎○
初四出入ノ處故ニ門トス或云變趣艮門ト通セサルニアラスト
イハ氏明夷四ノ門亦如何トカセンヤ特ニ今六ニ柔益四ノ門ノ

貌初剛門國ノ象ナリ衆人連行ノカトテナリ

六二同人于宗吝

宗ハ九五ヲサス此卦應ナキハ私係ナク同人ノ卦体ニ稱フ故ニヨ
シトス六ニ中正トイハ氏羞吝ヲ免レス同人ハ諸卦應比ノ例ニ異
ナリ○宗ハ宗祖宗廟宗子宗婦ノ宗ニ同シ尊親ノ義ナリ柔
ハ剛ヲ宗トス今睽五ノ例ニ同シ○九卦一柔五剛其一柔ヲ悅
テフレヲ得ントス一剛五柔ノ卦ハコレニ異リ能クコレカ主トナル
今其主トナリテ制スルヲ能ハス衆剛ヲシテ争ハシム九五定ル
應ナルヲ以テコレニ係テ私ス吝ナルヘキモノナリ

九三伏戎于莽升其高陵三歲不興

剛ニシテ中ナラス正應ナシ近クニ同セントスレハ中正ノ女ニシ
テ其正應アレハ取合ス九五ニ攻ラレシヲ懼レテ却テ伏兵ヲ莽

九四乘其墉弗克攻吉

ニ置キ自ラ高陵ニ升ニ遠見シ其隙ヲ窺テ五ヲ亡ホシテ以テ奪ハントスレト三年ノ久キモ興リ起テ戰フナシコレ已カ不中剛強ノ勸キヲ以テ中正ニシテ正應アル剛健ヲ恐レテ此仕方ヲナスサレト其ヒマヲエサレハ三年ノ月日ヲカサ子テモヤハリ其通りニ見合テ居ル君子有勇無義我為乱モノナリ然レトモト正ヲ得スレハ亡フニ至ラサルヘシ占ナキヲ知ルヘシ○伏ハ巽我ハ乾萃ハ巽高ハ上陵ハ巽木高キニ在ルナリ三歳ハニヨリ上ニ至ルノ數ニナシ揮ニ詳カナリ上九應ニトイヘト位ノ應アリ今野ノ中ニアレハゴニ伏兵シテ自ラ上九ノ高キニ升ルモノナリ不興ハ即チ伏ニテ巽ナリ説者九三ヲ升高ノ地トス誤レリ通象ヲ知ラサルモノナリ

九五同人先號咷而後笑大師克相遇

不中不正ニシテ應與ナク體質剛強ナル故六二ニ同セント欲レト三ノ爲ニ隔テラレ墉ニ乘テ攻レト六二ハ九五ニ應シ中正ナル故取合ス軍ヲ起シ攻戰テ奪取ントスコレ剛不中ヲ以テナリサレトモ位ノ陰ニ引トメラレ攻テモ勝ツヘカラサルヲ合点シ其事ヲヤムル故過チヲ改テ却テ衆人大同ノ義我ニ稱フ故ニタ此又吉ヲ得タリ○乘ハ九四自ラ乘ル墉ハ程傳四五ノ間ニアリトス從フカラス内外ノ界ニアリテ六ニヲ隔ツ九ニヲサスモノナリ墉ハ土石ヲ疊テ以テ成ス天地平分スレハ三ヲトニ土ナリ四ハ天中ノ地ニシテ亦土トス中乾上乾ニナ石トス墉トイフ所以ナリ攻ハ乾ノ象克字九五ト同讀スレハ亦乾ニ五中正剛柔相應ス係辭ニ所謂二人同心其利斷金モノ

號咷及
咷道及

十レサレニ凡六ニ柔弱ナレハ相迎ヘテアフコト能ハス三四ノ剛強其隔テ
ヲナシオコリイトレテ大ナル師ニ及ヘトモ義理ノ同キ所物コレ
ヲ防クコト能ハス終ニ勝オフセテ相値フコトヲ得喜ヒ笑フ○先
後ハ坤ノ例ニ同シ同人ノ世乾剛五ニ居テ剛ニ過ルモノナリ
後漸ク其本分ヲ得タリ號咷及笑字乾言巽音ニヨル尅
揮ニ詳カナリ大ニ乾ナリ剛ナリ師ハ乾戰巽武人離甲
冑アリ左氏傳得雋謂克ト乾ナリ相遇ハ正應和同ナリ
此文尊位ノ君ナレハ天下大同スヘシ然ルニ六ニ我ニ係ルヲ以テ我
又コレニ私シテ得サレハ頻ニ號咷ヲナスコレヲ得レハ多喜ヒ
笑フ大ニソノ君得ヲ失シテ小人ノ情狀ヲナス故ニ係辭二人
同心ノ義ニ取レリ經翼ニ十君道ヲ言ハス

上九同人于郊无悔

外卦ノ終リニ在リ郊其處之郊ハ野ノ内ニアリテ私ナキノ
地ナリ五ハ二ノ柔ニ應シ四ハコレニ近ク初三ハ同体ナリ唯我ノ
六ニ係ルニ由テ粗天下大同ノ義ニ終フ故ニ无悔○愚
謂フ初ハ里門上ハ外郊ナルハ内外ノ別ナリ始テ門ヲ出ル者
ハ本答アルヘキモ補過故ニ无咎上ハ野ヲ歷テ來レ凡有位ノ
人ニアラス且凶事ヲ經ルニ非ス故ニ无悔○愚謂フ同人ノ卦
タル蓋天子ハ天下ノ一人諸侯ハ其國ノ一人大夫ハ其家ノ一人
大夫以上ハ同スルモノアリトイヘ无寡シ士以下同スル者多ク
民最モ多クシ士ノ同スルコト軍旅最モ多クシ此卦在位野ニ於
テ同ストス故ニ皆士ヲ以テ言フ五君位トイヘ凡亦士ノ情態
以テ知ルヘキノコト九四唯吉ヲ得ルモノ其意深シ惟フニ同ト
睽ト相表裏ノ義ニシテ又ハ然ラス皆初ヲ以テ後同ス此

卦ハ大抵同而不知ノ意

三三 乾下 離上

大有ハ有ツ所大ナルナリ、火天上ニアルハ照サル所ナシ又内
剛健外文明ノ徳アリ、又ヲ以テイハ六六五ノ柔尊ニ居テ文明
以テ天ニ應シ五剛コレニ應スミナ有ツ所大ナルモノナリモシ
分テコレヲ言ハ大ハ乾有ハ離ナリ又五剛ハ大ニシテ柔ヲ
レヲ有ツ

大有元亨

大剛ナリ元ヲ陰トスレハ有モ亦陽日ハ陰ノ所具ナレトモ其
働キ剛ナルヲ取ル日天上ニアラハ萬國明ヲ受ケ品物亨
ラストイフヲナク天子明アリテ四海ヲ撫テ保ニスルノ象
皆大ヒニユキ渡テサシツカヘナキコト豈コレニシクコトヤ

其象借リ言フヘキモノナシ故ニ直千ニ元亨トイフノミ
此彖乾ト同ク卦名即千象元亨ハ占辞ナリ但利貞ヲ
イハサルコト純乾正大ノ戒アルニ及ハス逐卦四字ノ遺否ニヨリテ
爻外ノ象占アリ授餘占言嘗テ二三子ニ附ス豈煩ハシクコ
トニ記センヤ以下コレニ準ナス

初九无交害匪咎艱則无咎

大有ノ世止ヲ得テ下ニアリ上係忘ナシ事ノ初ナリテ未タ
害所ヘ至ラス剛ニシテ陽ニテハ躁キ進ムクシテ外アルニ嫌
アラシク交害故ニ匪咎艱トハ易キヲ執テモ必難シトシ敬事
ヲ謂フ大有ナリ時動キ進テ危キカ如クナレ氏如此スルハ元
外戒ノ意思知ルヘシ○爻ハ應ト言カ如シニ六五ニ志シニ六五ニ
事ハ四上ハ五ト同体タ初ノ五ニ交ルナシ害ハ六五ノ柔ナリ

位ヲ以テ言ハハ君ナリ初九剛正夕忠誠ニシテ押レ親ヲハ
外ナカルヘシモ柔ヲ悦ニテコレニ交レハ必害アリ六爻字五下相
テル但五ハ象ニ父ル喜意

九二大車以載有攸往无咎

剛中ニシテ下ニアリ上ノ君位ニ応ス此文臣位ナレバヨク其職
ヲ勉テ文明中徳ノ君ヲ戴キ載ス吾家ニ居テ動カセハ君
ヨリ外ヲ受クヘキナレト往テ忠孝ノ事ヲナスハ臣子ノ身ナル
ヘシ故ニ无咎○乾圓カニシテ能ク轉スルノ象トス故ニ下卦
ニアルノ乾ハ多ク車トス蓋重キヲノセ遠キニ行クハ乾車ニ
アラスハ能ハズ况ヤ剛中ナルヲマ大車トイフ所以ナリ大ハ又
象ヲ兼ヌ載モ亦然リ之ヲ發揮ニ詳カナリ六五離主明
ヲ以テ來リ麗ク往ハ心スルノ速カナル六五ニ往クナリ

九三公用亨于天子小人弗克

九三下ノ上ニ居正位ニシテ剛徳アリ上六五ノ君アリテ心ヲ虚ニ
シテ賢ニアル九三天子ヨリ大國ヲ預リ有ツ土産ノ宝物ヲ
享献セスハアルヘカラス今庭中旅百以テ進見スルノ象小人
義ヲ知ラス礼ヲ學ハス古ハサル所ナリ○公ハ九三天子ハ六五
又卦ヲ以テイハハ公離天子ハ乾發揮ニ詳カナリ卦夕初三
正ヲ得タリ然レテ初ハ早下ニシテ位ナシ天子ニ言フスヘカラス故ニ唯
九三言フス小人ハ災シテ弗克○左氏僖公二十五年大右之睽
曰戰克而王饗食トコレ郷食ト亨ト通ス亨字朱義亨献ノ亨
トス古字通用左氏宴郷食トス亦活例ナリ象ヲ見占亨断ス
ル其義窮リトシタトヒ本文ノ實義ニ非ルモ其事ニ應心シテ
轉用活断スヘシ况ヤ此文宴郷食ノ義又通スモト一字ニ説ヲ含

三ハアラス象義左易便覽ニ詳カナリ。○大邦ノ朝貢スル所
虎豹、鳳鶴、馬牛、羔羊、鴈雉、甲冑、刀劍、金玉、
旌旗、書畫、美人、工人等、庭上ニ陳子タリ、亦便覽見フ

九四匪其彭元咎

彭字未詳、程傳盛皃トス、朱義コレ從テ、他異說多シ、王說
後フヘカラス、六五柔中ノ君、九四剛德ヲ以テコレニ逼リ、居大臣
ノ位ニテ、憚レテ、君ヲナニスルノ嫌アリ、然レトモ、陰位ニ居テ、其
剛ヲ極メス、如是ナラハ、百里ノ命ヲヨセテ咎ナカルハ、亦慎ニスル
ヘカラス。○匪ハ陰ナリ、彭ハ離火ノ象、

六五厥孚交如威如吉

大有ノ世、柔順ニシテ中ニ居、尊ニ在リ、己レラ虚フシテ、九ニ
賢ニ應シ、天下ノ臣民、帰服セサルハ、ナレコレ字アル、交リナリ、交

如ハユキ渡テ、ヘタ、ニトラヌフ、サレ、臣剛ニシテ、君ノ柔且君
道ハ剛ヲ崇ム、甚柔ナレハ、威命行ハレス、シテ、君道廢ス、幸ニ
明君ナリ、勉テ身持ヲ嚴クシ、人望テ畏レハ、威如クモ、ニシテ
吉ナル、道ノ所謂、臨之以莊、則民敬スルモノナリ。○孚ハ離中
虚ニ取ル、交ハ柔ニシテ、上下ノ剛ニ心ス、且離、体物ニ麗ク、象柔ニ
シテ、離愛ヲ持ス、然レ、臣剛柔ニ逼ル、故ニ火烈ノ、嚴ヲ教ヘトシ
テ、威如ク、トイフ、火、体愛アリテ、温ナレハ、近付ヘシトイ、切ニ適レハ、
燒亡ス、今柔ニシテ、情ニ流レ、易シ能クコレヲ、教ル寸ハ、中ヲエテ、明
君ナリ、亦以テナスヘキ、象ナリ。○左氏、閔公二年、大有之乾、曰、敬
如君所、ト敬字、此威如クヲ、謂フ、象義ハ、柔揮及、便覽見フ、
上九、自天祐之、吉无不利、

剛ニシテ、高キニアレ、臣ヨク下テ、六五ノ君ニ從フ、係辭ニアル、如ク、順ナ

レハ天ヨリコレヲ祐ケ信アレハ人コレヲ助ク高フシテオコラス賢
ニシテ剛徳ヲ廢ヤス滿レ尺溢シサルモノナリ吉ナル上ニ其事ヲ遂
サルハアラシ○占中象ヲ取ル天ハ上ニ爻ヲ天トスルノ爻象ナリ占者
コレヲ得ハ即チ爻ヲ以テ天トスヘシ亦自ラ賓主タリ或人此文
天ナレハ人ニ非ス下テ六五ヲ助クトス易象ヲ見ルイ人事ノ理實ニ
泥テ如此愚ナレカラス一爻ニシテ或ハ天トシ或ハ人トシ或ハ物トシ
其宣キニ從テ取ルコレ聖人取象ノ法ナリ其義遂哉隱然ナリ
モシ如此ナレハ吉无不利ノ占モニ十六五ノ爲ニ係ル所ニシテ爻
象義ヲ脱ス○大有ハ此ト表裏ス大有ハ比ノ剛ヲ以テ柔ヲ統ヘ
相親輔ス如ス比ハ大有ノ剛ヲ統テ柔中ニ位スルニ如ス彼湯
武ノ時ノ如ク此ハ成康ノ時ノ如ク又同人ト相反ス爻ヲ以テ人同
人ハ同而不知此和而不同ノ意

三三艮下
三三坤上

山ハ高キモノナルニ地ノ七キモノ下ニ入ル天地ノ間如此ノ實形アル
ヘカラス然レ尺溢シカス因重スルハ必此哉成ルヲ以テ聖人コレヲ人ノ徳
トシテ名ヲ下シ玉フ良ヲ篤實トシ坤ヲ順トス内篤實ニシテ
外柔順ナル謙ナリ謙ハ有テ不居ノ義ナリ身ヲ引サテ
我位ヨリ卑ク居ルヲイフ凡テ驕ル者ハ人惡テ却テ抑ユルモノ
ヘリクタルモノハ人ヨリ引伸シテ崇ヒ敬フ尺蠖ノ屈台如シ又九三
一剛一柔ノ主ニシテ下ノ上ニ止リ五柔臣ニシテ君ヲ得從テ皆カサレ
ナリ
謙亨君子有終
良剛篤實輝光内高大積徳アリ坤厚柔順外温潤卑
下如此内止テ外順ナルハ君子ニアラスシテ何ノ又一剛下ニ止テ爻位

正剛諸柔信服シテコレヲ仰ク君子ノ象ナリ右終トハ坤順終
リニ在テ後得成就ス又先ツ屈スルノ君子ハ後伸スハルカラス
又ニ五柔ナリトイヘ凡九ニカアリテ正シ是以テ諸柔命ヲ受
テ其事ヲ終フモ亦有終モノナリ○君子ハ良有終ハ坤ナリ冬ヲ
以テ言ハハ剛ハ君子諸柔ハ右終トスヘシ又九三ニシテ震坎
艮ヲ主リ内外ヲ統テ君ニ事ヘ勞シテ不伐切アリテ徳トセス
君子亨テ右終ノ象ナリ

初六謙々君子用涉大川吉

謙ノ世柔ニシテ下ニ居篤實ヲ以テ最モ卑ニ止ルハ謙ニシテ又
謙ナルモノ誰カ君子トセザラン此徳アレハ夕トヒ至險ノ大河ヲ
十 涉ルトモ氣遣ナク渉ルヘシ吉ナリ○用字利字ニ同シカラス
コレテ渉ラルノ義利字ハナシトケテ宜キ意ソレ謙ハ退讓
ヲ義トス今卑下ニ處シ裁分ヲ守テ廉動セスコレ君子ニシ
テ謙々タルモノナリコレヲ用テ渉ルノ意大川ハ全卦厚坎
ナルニ中休震木虚舟ニシテ坎水ニ就久初六足ヲ以テ坎水ニ
向フ謙徳ノ君子夕、渉ルヘシトス

六二鳴謙貞吉

柔順中正謙徳アル人ナリ世ニ聞ヘテミナ其正直ニシテ礼讓ア
ルヲ崇ム声聞世ニ長キ一物ノ鳴ルカ如シ正ヲ得テ吉ナルモノ
ナリ○鳴ハ良言震声坎舌ニヨル發揮ニ詳カナリ貞吉中
正ヨリス但守ラサレハ吉ヲ得カタシ唯吉トイフタモ然リ況ヤ
貞吉ヲヤ易中ニナ此意

九三勞謙君子有終吉

此文夕、剛下ノ上ニ居テ正ヲ得タリ上下ノ衆柔歸服スル所

ナリ、如此上下ノ衆人ニ取合テ、其事ヲ取サハク故、甚苦勞ナ
リト云レテ、勞ト云フ、人ヲ治ムル者ニシテ、オアレハ、必元リ驕ル
モノナルニ、身ヲ引サケテ、卑ニ處ル、謙ヲ主タル所以ナリ、常人
ハ中ノナシカタキ、君子テ無レハ、イツマテモコレヲ持コク
テ、未ヲ遂ルコトナルヘカラス、餘ハ卦辭ト同シ、此又卦主ナル故
ヨク卦義ニ稱フ、吉知ルヘシ、○勞ハ中坎ナリ、坎ヲ勞卦トス、況ヤ
今、上下ノヨル所、服勞ノ又ナレハナリ、

六四无不利撝謙

柔ニシテ正ヲ得上ニイテ、能ク下ルノ象、コレヘリ、下ルコトハ、怠リ
ナキモノナリ、故ニ其占、无不利、然レハ、卦主九三ノ上ニ居テ、尊
位ノ君ニ逼レハ、愈戒メ慎ミ、謙德ヲ揚アラハシテ、發キ揮フヘシ、
上下ノ間、安處ス、ギニアラス、○撝、良手ノ象、内ヨリ始テ外ヘ出ツ

其德ヲ發揮セス、アルカラス、能ク如此ナレハ、人ノ見聞ヨク、其
德ヲ知ル、正ヲエテ、謙スレハ、柔ニシテ、退キヤスシ、故ニ聖人コレヲ
進ム、

六五不富以其鄰、利用侵伐、无不利

柔ニシテ尊ニ居リ、上ニアリテ、能ク謙スルモノナリ、柔虚卑
退ニ居ル、不富トイフ所以ナリ、如此テレハ、我領分ニ謙テ治レ
ハ、賄賂ハ勿論、運上モ取ラズ、財散スレハ、民聚ルモノナレハ、鄰國マ
テモ、其德ニ懷テ、從フ者、市ニ歸スルカ、如シサレハ、他又ト違ヒ、
甚謙ニ過レハ、君德ヲ失スルノ弊アリ、故ニ又ソレテモ、背ク者
アラハ、征伐シ、仕置ヲ行フニ利ヌ、コトハナシ、其餘事言フニ及
ズ、○此又謙字ヲ用ヒス、却テ侵伐トイフコレ、君德柔ニ過
ルヲ以テ、剛ヲ用ヒテ、中ニ稱ハシム、富ノ義、鄰ノ象、小畜五

泰ノ四ニ見フ、或云侵伐字熟セス、征伐ノ誤ヲト見ルニト、愚謂フ
左氏云、凡師有鐘鼓曰伐、無曰侵、上、伐ト象、義我相ヨルヲ以テナリ、
何リ強クニ聖文ヲ斧鑿セシ、且象ニ於テ親切ナリ、坎ニ潛行
ノ象アリ、故ニ盜トス、侵字亦コレヲ取ル、伐ハ震聲、良言、坎者
ヲ取ル、師ノ象上六ニ見フ、ミナ發揮ニ詳カナリ、

上六鳴謙、利用行師、征邑國、

謙德積リ、極テ聞ルコトアリ、人ノ帰服シ、與スル所ナリ、コレ
柔ニシテ陰ニ居位ナキ故、上ニ在テモ高フラス、邑民、モシ
我ニ背カハ、師ヲ用ヒ征スヘシ、必其事ヲナシトクヘシ、サレ
質柔ニシテ、位モ陰、且卦極行クキ處ナシ、我私邑ノ界
マテハ征スヘケレ、凡他國ヲ伐、天下ノソコ子ヲ立ナラスコトハ
ナラシ、○鳴字、象六ニ同シ、或ハ轉倒シテ、豫初トナルノ

倒象トス、謙極シテ、征伐ノ事アルハ、坤上ニ似タリ、順逆同
シカラサルノミ、師ハ五ト同ク、坤衆、坎剛、良戈、震威ヲ以テ之
且師ノ假象アレハナリ、其我ニ服セサル者ハ、五ト同ク、九三ニ
九三勞謙ノ君子、如此ナルヘカラストイヘ、凡五上ノ取ル所コレニ
異リ、亦コレ取象ノ道ナリ、コレ下ニ居、剛ニ過キ、止テ防クノ
象、不服ノ臣ナリ、此爻ニアリテハ、即チ我邑ナリ、邑國ハ
坤坎ナリ、

三三 坤下 震上

豫ハ和樂ナリ、内順ニシテ、外動ク、聖人順ヲ以テ動ク、象トス、順
ヲ以テ動ケハ、衆人從テ、和ヲ樂ム、又上動テ、下順フ、又九四剛諸
柔ヲ率ヒ、雷ノ地ヲ出テ、鳴リワタル象ニシテ、其威ヲ懼レテ、號令ニ
從ハサルハ、ナシ、從ハ必安ス、皆和樂スル所以也、

豫利建侯行師

聖人オモヘラク人ヲ和スルハ必怠ル怠ルハ必敗ル豫台心以テ思レスハ
アルハカラスコレヲ防ク如何能ク勉テ切ヲ立ルニアリ故今雷地ヲ出
テ奮フノ象ヲ取テ占者ヲシテ其切業ヲ威サシム其教此和ルノ民
ヲ率テ建侯行師トキハ號令節制行ハレ必勝テ以テ切ヲナサン
○建侯ノ象ハ此見フ師ノ象謙ト同シ行ハ震ナリ皆發揮ニ詳
カナリ雷ハ發生ノ氣ナリ東トシ二月トス並ニ震ノ象ハ雷起レハ
冰融和シテ必雨リ草木暢茂シテ人心和ルスコレ中春和煦ノ
時ナリ今上下ノ君民順トシ以テ九四ヲ將トシテ師ヲマラハ
其切ナクナルカラス孟子曰天時不如地利地利不如人和○豫多
義アリ和ルスコレ必怠ル自然ノ勢ナリ聖人礼ノ制作スルコレカ
為ナリ卦ハ和ルヲ取リ又ハ豫台心ニ至ルヲ取リ又豫謀猶豫豫備ノ

初六鳴豫凶

義アリ又安ナリ又或ハ預ニ作ル卦此數多ノ意ヲ含ム
九四ノニ卦ノ辭ニ同ク衆樂ノ義其餘ノ又ハ自樂ノ義主賓ノ
異ナルモノ之此文柔ニシテ下ニアリ小人ナルニ上九四ノ剛時運ニ當リ政ヲ
主テ能ク我ニ心シ寵愛ヒイキヲナス故ニ己カ悦ビ中ノツミ怖ヘテ
居ルニタヘスコニ必シテ悦ビサワクノ物ノ鳴ル方如シ凶キヲ必セリコレ正
預夫人大臣ニ出入シ國家ノ機密ヲ預ルモ人漏師於多魚ノ象○鳴ハ
雷地ヲ出テ鳴リ衆人見聞始テ驚ク卦主人ヲシテ怠ラシムル者
ニ心ス自ラ謀ヲ失シテ此凶ニアフモノナリ
六二介于石不終日貞吉
此卦和樂ノ義故又トニホムノ義アリ然ルニ其敵ヲ溺ルニアリニ
五豫字ナリシテ此文ノ中正ヲ得タリ我操ノカタキヲ石ノ如ク

ク其位安靜ニシテイヨク確ク思慮明ラカニシテ其位ニ居テ溺ルハ
ニ至ラス早リ其場ヲ立去ホトニ日ノ暮ルヲ待タズ正リシテ喜ル
モノナリ允フ何ニテモ先見ノ明アリテ事ノ幾ノ微ナルヲ知ル賢之
危邦不居不入危邦ノ意○石公震良曰ハ下卦ノ中ニシテ又象皆發揮
ニ詳カナリ今ハ節操六二中正ナリ貞吉モコレヨリ出ツタ此又
ノ吉ナル學者者意ヲ得ヘシ

六三盱豫悔遲有悔

盱ハ上視ソラ目ツカヒスル豫時ニシテ不中不正シカモ卦主ノ四
ニ近シコレ人ヲ溺ラスノ主ナリコレヲミアケテ下ニホテ居ルハ和
ニ溺レテ豫怠スルモノナリ宜ク悔アルヘキノミ然レテ猶此時ニシテ
悔カハサハ大悔ニ至ラサルヘシ占者モコレニアハ事速カニ悔テ其
場ヲ急キ立去ヘシサレハ何事モ十カルヘシ其意ハ氣力付ス

立去テ遲ナリ落付テホテ居レハ必憂ヲ生シテ悔アリ○盱ハ
九四比スルニ不中不正ヲ以テス溺ルハ既終日トイヘ凡早ク悔カハ
サハ深夜ニ至ラシ

九四由豫大有得勿疑明益簪

諸又ニナ此又ニ由テホムヲ得タリ故ニ由豫トイフ此又大
臣ノ位ニ居テ柔君ヲ相ル故群臣諸民思ヒ付テ心ノ伏ニ
行ハルハ大有得モノナリ群下ノ順性服スルヲ疑ヒナシ且剛ニ
シテ陰ニ居哉ノ中ニシテ主ナリ其ニルシハ明相聚ルホトニ強
臣ニシテ柔君ニ逼リ事ヲ取サハ臨大節不可奪ノ嫌凡
ヘケシ凡至誠サヘ勉レハ邪氣ハナクナル勿疑明益簪○由豫ハ
象ノ象由顛ト同ニ大ハ剛ナリ有得ハ長ナリ坤之疑ハ卦象
猶豫ナリ明ハ坤象トス説者ノ通例ナリ但坤ナキモノニ出ル

替聚也又
迷也

頤
主文

女カラス今又ニシテ震辰坎艮三男相聚ル象アリ此亦愚按
一説ノミテ發揮ニ詳カナリ
六五貞疾恒不死

豫ノ時ニシテ柔ヲ以テ尊ニ居、和柔ニ沈ミ溺ルモノナリト九四ノ剛
ニ乘テ其勢危シ九四時運ニ當テ衆人我ニ田心ト付ス其物アリテ
其働キナキモノナリコレ其サシツメテ疾ハモノナリサレバ中ニ居テ正
ヲ失ハス君ノ位ヲ持テ失フニ至ラス恒不死モノナリ○自ハ固ナリ
疾ハ一説ニ坎加憂心病トス今中坎ニアレハナリ、蓋我或ハ然ラシサレバ
疾字易中数多アリコレヲ点檢スルニ定象見ルヘカラス、哉因
ル所ヲ得スタ、其當又急ナルノ象ニ似タリ、恒字此又變シテ
中巽ヲ見レハ上震合シテ恒トナルノ雜象ナリ不死ハ卦ヲ以テ
スレハ震及生ノ象又ヲ以テイヘハ位ノ阳ト又ノ中ト善ヨル此

又此五ニ似タリ、然レバ彼ハ初九ニ相通ラス此ハ九四切ニ相通ラ時ヲ
得テ執カレリ已レ後ニ在リトイヘ凡皆九四ノ制ヲウリ
上六眞豫成有渝无咎

陰位柔昼豫ノ極居ルハ逸樂昏迷シテ復ルコト能ハサルモノ動
体ノ終リナル故其事成就シテモヨク渝変スルヲアリ、必常ナル
ヘカラス占者此象ニヨリテ能ク其過チヲ補フテ善ニ遷ラハ又咎
ナキノ道ナリ○宜ハ柔昼陰位卦極ニアルノ象成終皆又象渝
ハ震ナリ、愚心謂フ此卦一昼夜ノ如シ初ハ早旦、二ハ中日、三ハ落日、四ハ初
夜、五ハ中夜、上ハ曉明ナリ、故ニ眞豫成有渝モノナリ、

三三震下
隨ハ從ナリ、從トハ主タル目當アリテ先ノ引廻スヤフナリ、身先
ヘ付テ動クヲ謂フ此動テ彼説ニ内動テ外説フニ十相チニアフテ

其ナス所ニ隨フノ義、今長男、女相アテ、歳相シカス、配當ラストイヘ、
蓋ハ、長女、少男ニ光タナテ、相與スルカ、如クナラス、本音心ニハアラサレトモ、
時ニ隨テオサムル、如此コレヲ、卦ノ本義トス、六爻ニ十、此意ヲ推スヘシ、
隨、元亨、利貞、无咎、

肝要

己レヨリ物ニ隨ヒ、物來テ己レニ隨フ、彼此相隨テ、其通スル、易ニ
允テ隨フハ、他人ニ背テモ、我目當ノ人ニ心ヲ置キ、身ヲ委ヌレハ、向
フカラモ、其如クミテ、何モツカスル、ハナシコレニ、六七ノ類ニアラス、
ト、ニ、ナキ、渡ル、故、元亨、トイフ、隨フニ、正キヲ擇フカ、干、腰ニシテ、相キヲ
擇ハス、道ニキニ隨ヘハ、タトヒ、一旦通ルトイヘ、凡、咎ヲ免ル、ナキリカク、況ヤ
其事ヲナシ、遂、
○隨ノ亨、ル、上ニ述ルカ、如シ、又ニ、五、剛、柔、相、心、レテ、
共ニ中ヲ得タルモ、
上ルノ象、且卦、初、動テ、說フニ、陽上リ、陰下テ、ニ、体
相和スモシ、松ヲ以テ、セヌニテ、相隨ハ、元亨ナラシ、此卦、時ニ隨フノ

義、湯武ノ放伐ノ如クナラハ、元亨、利貞、无咎、モノナリ、然ラズ、必、咎
アリ、此、四、定、全、
數、系、ル、モ、易、中、タ、七、卦、ニ、十、大、正、ナラサレ、六、卦、ニ、心、セ、ス、
係、辭、曰、卦、有、小、大、七、卦、ノ、如、キ、ハ、所、謂、大、ナル、モ、ナリ、左、氏、重、公、九
年、穆、姜、云、云、ス、ル、モ、苟、ニ、當、レ、リ、活、法、ト、ス、ヘシ、此、卦、及、体、モ、復、体、モ、
共ニ、蓋、ト、ナル、隨、ノ、世、一、タ、七、轉、ス、レ、ハ、中、蓋、ト、ナル、ノ、執、カ、アリ、王、程、朱、子、此、卦
多クハ、卦、變、ヲ、取、ル、モ、亦、易、ノ、活、例、ト、ス、ヘシ、然、レ、凡、コレ、ヲ、經、註、ニ、取、テ、易
ノ、本、義、ト、ス、ヘカ、ラ、ス、フ、レ、翼、象、ノ、一、例、ノ、ニ、愚、心、按、ス、ラ、ク、モ、シ、己、ト、イ、フ、エ、ス、
卦、變、ヲ、取、ラ、ハ、二、卦、各、轉、倒、ス、ル、モ、ト、ス、ヘシ、鄙、說、翼、註、ニ、見、フ、

初九、官有渝、貞吉、出門、交有功、

卦ハ、物來テ己レニ從フヲ、義トシ、爻ハ、己レ物ニ隨フヲ、義トス、此、爻、震
ノ、主、ニ、シ、テ、動、テ、物、ニ、隨、フ、ノ、主、張、ナ、リ、隨、ヘ、ハ、主、ト、シ、テ、カ、タ、ヨ、ル、所、ア、リ、テ、
常ト愛カアル政事、テ、イヘハ、官有渝、占者、隨マ所、正シケレハ、吉ナリ、

随フニ大方我カアリテ、悪キヲモヨキニ言ヒナシ、實ニ過タルコト多
シ故ニ戸内ノ私ヲ出離レテ、天下ノ人ニ公道ヲ以テ交ルヘシ、且人ニ隨フ
モノ我内ニ居テハ、隨フノ事ナルハカラス故ニ我門ヲ出人ノ門ニ入リ、
本意ニハアラス、人ノ下ニ屈スレハ其勸キカ目ニ見ヘテ、必其功アル
ヘシ。○官渝出並ニ震ノ象、初ハ門ノ象トスコレ我門ナリコレヲ出テ、
上ニ君ノ良門アリテ、今コレニ向フ初ハ足ニ震モ足ニ九四大臣門ヲ
開テ、天下ノ賢ヲ招ク足コレニ向フノ時ナリ、交ルハ隨フノ事ナリ、
却能ク隨ヒ交レハ官有渝自ナラシ礼四十日強而仕、五十日受服官
政ト又此意、

六二、係小子、失丈夫

初九剛ニシテ、下ニアリ、ワカキ男ニ取ル、九四其敵應ニシテ、上ニ居テ
亦剛ナル故、丈夫ニ取ル、其間ニ二三ノ柔アリテ、ハサマルコトヲ以テ、
初四相争テ取ントス、二三ハ何レニ隨ニヤト思ヒ迷フ、終ニ其近キニ比ス、故
係小子、失丈夫トイフ、此卦應ヲ取ラスシテ、比ヲ取ル、如何トナレハ本意
ヲマケテ、時ニ隨フノ義ナレハナリ、故ニ此丈夫ヲ以テ、九五トスヘカラス、
○係ハ剛柔相説テ、廢ルコト能ハサルノ義、柔ヨリ剛ニ係ルヲ謂フ、
故ニ三柔ホミナ係トイフ、剛ハ自立ノカアリテ、以テ人ニ隨フヨシ
トスヘシ、故ニ初ニ交トイヒ、四ニ隨トイフ、五、君位ナルヲ以テ、コレヲ
取ラス、三柔タ、ニヲ中正ナレハ、柔情トス、三上更ニ隨從ノ字ヲ加フ、
六三、係丈夫、失小子、隨有求得、利居貞、
丈夫ハ九四小子ハ亦初ヲ謂フ、三近ク四ニ取合テ、初ヲ失フコレ柔
下ニアレハ、交ラスハツナレハ、位ノ陽ニ引ラレテ進ム故、四ノ陰位ニテ
反、退ク剛ト取合モノ、六ニトマサニ相友ス、九四時ノ任ニ當田テ戚アリ、
己レコレニ隨テ、望ノ稱ヲタモノ、私ヲ以テ、媚ヒ諂ヒ、不氏ニシテ、求ル

ノ嫌アリ故ニ戒テ、利居貞トイフ居ハ動カサルヲ義トス、動ケハ
則チ居ルニアラス。○内ヲ出テ外ニ隨フ隨ノ義ニ乖カスシテ人
時ニ隨フノ宜キトイヘ氏ニ動体ノ終ニシテ人安靜ヲラス、且不中
不正妄リニ隨フカラス能ク貞ヲ守テ止ルヘシ有求得トハ其信
セラルノ甚キヲ謂フ、

九四隨有獲貞凶有孚子在道以明何咎

九四剛ヲ以テ上ノ下ニ居大臣ノ位ニシテ君ニ近久我威勢ノアルニ
任セテ心ノマ、ニス況ヤ今下民ヲ得テ勢五ヲ凌キ君ハアルカナ
キカノヤフニナル故隨有得貞凶サレ氏本オシテ取タル職ニ非
ス當時我ナラテハ其人ナクシテ此大任ヲ得タリ然ラハ如何カヨ
カルキ孚ヲ動メ道ニ在リ我分ヲ知テ悟マスハ凶ヲ免レン君臣
ニ職ヲ任シテ礼アリ臣君ニ隨テ忠ニシ且敬ス如此テ威

勢ノ君ニ付ヤフニシテハツキリト君臣ノ命ヲワカケテモキレヌ
ヤフニシニアラ外ヨリ難スル者ハアルフニサアラハ上安ンシテ下
從フ周公ノ成王ニ於ル思フヘシ○獲隨ノ功ナリ有孚以下戒辭ナリ
道ハ上下ノ間地上ニアルノ象且震艮徑塗ノ卦象ナリ孚ト明
トハ剛且厚離ノ

九五孚子于嘉吉

剛中正ニシテ尊位六二中正サニツメノ應ナレ氏初ニ係テ我ニ來
ラス幸ヒニ上六ト剛柔相逼ル配當ラストイヘ氏又礼ヲ失フニアラ
ス又言テ了字テ訓ニシテ嘉會トイヒ礼ニ嘉事トイヒ遯五ノ
美ヲ嘉遯トイフ配得テ礼アリ嘉美ナルモノナリ孚子ハ信ノ
驗ノミユルヲ謂フ○孚子嘉並ニ中正剛徳ノ善ナリ他又皆隨係
交ト云此又フレヲ言ハズ君位ハ我ヨリ隨フ所ナシ彼來テ我ニ

求ノ幸ヒニ相好ス故ニ嘉ト云テ足レリ

上六拘係之乃從維之王用亨于西山

上六陰位柔爻正テ得テ應ナシ五ノ君我ニ下ルヲ以テ切ニフレヲ
拘ヘ維ク九五乃從テ之ヲ維クコレ隨ノ至極ニシテ隨ノ義我固ク
結テ取ハサヌモノナリ誠ノゴリ堅マレルナリ其シルニ六五ノ玉此
西山ニ升テ祭ヲナス誠意ノ至リハ神明ニ通ス神ヨリ又福ヲ下
シテ萬世無疆ノ休ヲ致サン○拘ハ良係ハ柔從ハ隨維ハ巽王ハ五發
揮ニ詳カナリ亨ハ祭亨ナリ西山兌山ハ良上ノ上ニアリ王ハ天下
ノ隨フ所王ノ神ニ隨フハ從フニ至リ隨フノ字ハ祭ニアラハル
王ハ天地山川五祀ヲ祭ル今隨極高キニ在リ故ニ山ヲ祭ルニ取
福ヲ受テキモノナリ○康熙帝曰五字ニ猶可而於上拘係
則說得全无根據ト卓見ト謂フ三三五上今コレニ從フ

巽上

蠱壞極テ有事ナリ良剛上ニアリ巽柔下ニアリ巽テ
止ルハ乱ル貌且剛上リ柔下テ上下相交ラヌ沉ヤモト巽
艮交ラヌトテ八卦内々此ニ卦卦中ノ交リナシ各剛上
柔下乱レタルモヤフナリ又山ノ下ニ風アルノ象山ハ草木アル
處風吹ハ枝葉華實ヲ乱ル又長女少男ニ先クナシ其心土ヲ蠱
惑セシムコレ皆物ノ乱レタルカタチナリ左氏泰ノ醫和曰淫
溺惑乱之所生也於文四虫爲蠱穀之飛亦爲蠱ト四害ノ物
名ナリ害父用ヒサル寸ハ必蟲ヲ生ス國家治久クシテ必乱レ
穀久ク積ム寸ハ爰ニテ飛虫トナル既乱ル貌ナレハ治マルノ
始メニシテ事アルノ時ナリ

蠱元亨利涉大川先甲三日後甲三日

蠱壞ノ極乱マサニ治ニ復スヘキ故其占ヲ元亨ト云フ乱極テ
治ニ入ルハ天ノ道ナレハナリマサニ治マルノ時元亨ノ雷量アラハ
險ヲ涉ルトモ能ク事ヲ遂クヘシ實ニ川ヲ渡ルノ筭ナレハ
大抵此筭ヲ得レハ艱難ヲ凌テ事ヲ成シトクルニ取ルコト活用
ナリ甲ノ日ノ始事ノ端十干ノ最初ナレハコレヨリ日ヲクリ出ス
乱極テ事ヲ治ムルノ日ニ取ルニ日先ハ辛ノ日ニ日後ハ丁ノ日前
事ハ轉シ既中ヲ過テ壞レントスル寸ハ自ラ其徳ヲ新タニシテフ
レヲ後事ノ端トシ大壞ニ至ラサルヤフニスレハ日々ニ新タニナリ
テ其丁寧ノ意ヲ極メ前事ノ壞レヲ取テラシテ又速カニ壞
レヌマフニシテ本ノ治ニ復スヘシ俗易者流此卦ニ於テ專ラ
納甲ヲ以テ斷セントス實ニ易道ノ瘤ナラスヤ○干支ノ興
ル何レノ世昌レノ人ヨリスルヲ知ラス蓋勿ヨリ後ニ出テ方

位時日易ニ相背カス書ヲ点檢スルニ唐虞ノ世正月上旬正月
朔旦月正元日アリ益稷始テ辛壬癸甲ト云フコレ既辛ヨリ
甲ニ至レリ三代ニ至テ多ク支干ヲ見ル甲子昧爽ハ武王
事アルノ日ナリ且周書春秋及左氏郊廟ニ有事ニ多ク
丁辛ノ日ヲ用フ易中干ヲ言フモノニツ蠱ト巽トナリ巽ハ
庚ヲ取ル巽五ニ詳カナリ按スルニ上古日ヲ記スニハ必先干ヲ
用フ其後支ヲ付テ用テ足レリトス故ニ春秋ニナ干支
ノミナリ一月三十日夕朔ヲ云テ二日三日ヨリ乃ニ十有何日
ト云ハスタ甲子ヨリ癸亥ニ至ル其二三ノ數ヲ附スルモノハ
後世ニアリツレヨリ又五姓ヲ賦シ宿ヲ置キ七曜ヲ配シ
テ曆文甚繁シ○干支合シテ六十日一氣タリ一年三百六十
五日四分日ニ巡環シ二十四季七十二候ニシテ四季ヲ調ヘテ以テ

天ノ時ナル一ツモ逆行スルモノアラス今巽艮相アフハ逆行ノ
象ナリ艮ハ東北巽ハ東南ナリ正ニ震ヲ挾テミナ東方
ノ卦ナリ然ルニ巽ハ艮ニ先タキ兌又中ニ居テ震ニ先タキ歸妹
ノ象ヲナスミナ逆行不正トスヘシ故ニ卦ニ戒テ先甲後甲ヲ以テ
シ又ニ木幹父子ヲ言テミナ順ヲ教フ甲シ東方ニ始リテ卯ヲ
挾ミ甲既卯ニ先タキテ大始ヲナスコレ登陽ノ處艮ノ終リ震
ノ始ノニシテ巽ニ至テ齊フモノナリ今前後混乱ニテ治ムキ
ナシトイヘ凡ハ亂極テ治ニ復ルハ即チゴタ天ノ常故ニ一周ニテ治ニ
歸スルヲ謂フ其卦名ト卦辭ト異ナルモノハ聖人象ヲ取ルノ微
意蒙ト一例ナリ三日ハ陽氣ノ復スルヲイフ前二日後三日中ヨリ
合テ七日ナナルコレ東方ノ卦ナルヲ以テナリ發揮ニ詳カナリ
七日ト云フヨリ其戒深シ月ヲ用ヒスニテ日ヲイフ陽氣復ス

ルヲ言シタフ之其復スルヲ元亨トス又二五剛柔相應シテ兵ニ中テ得
タルモ元亨ナリ利涉大川亦フニアリ且全卦中虛舟楫ノ象
又初ヨリ五ニ至テ厚坎大川ニシテ震木巽樹コレニ浮ヒ巽風我
ニ在テ順風ナルニ終ニ艮岸ニ就テ止ル今マサニ治ヲナサントス行ハ必
切アリ○此卦及對モ復對モミナ隨モト隨ノ治極リテ亂々
ルモノナリ今亂極リテ治マルノ時ナレハ本ノ隨ニナル何ノ障リナ
シコレ亦元亨ノ義ナリ隨蓋ニ於テ卦變ヲ取ラハ亦此象ヲ以テ
スヘシ○左氏僖公十五年秦繆公晋ヲ伐ントシテコレヲエタリ不
變ノ一例ナリ其台中ス奇ナル哉亦便覽ニ詳カナリ

初六幹父之出豈有子考无咎厲終吉

幹トハ木幹本身ニテ枝葉ノ付ク所ナリ其ヲモニナルヲ謂フ蓋
ハ前人既壞ルノ緒ナリ故ニ諸父皆父母ノ象アリ子タルモノ父

ノ乱レヲ取ヲサムルヲモナリ、モトノ治ニ復セシムレハ、子アル考、
セラル、一ヲ免ル、父ノ死セルヲ考ト云フ、コレ過去ノ象ニシテ、考
トイヘ、生ルモ亦我ヨリ先ニ死生ニ拘ハル、勿レサテ、此文柔ニ
シテ、下ニ居、父ノ乱レヲ取オサメントスルハ、危クシテ、落付ク
テハナシ、其危キヲ知テ、ヨク戒レハ、終ニ吉ナリ、初来、夕、蠱深カ
ラスシテ、濟ヒ易シ、故ニ如此、○幹ハ初ヨリ五ニ至テ、震巽ノ木
タルヲ取ル、故ニ上ニ於テ、イハス、有子以下、右、辟ニ壞レ、極ツテ、事アル
ノ象ニヨリ、テ、父子ヲイフ、父之蠱ハ、我ヨリ先ニアレハ、一身ニア
リテハ、改過遷善ノ義ナリ、幹及六爻、父子ノ象ヲ發揮ニ詳カナリ、
コレニテハ、九ニヲメトスヘシ、終吉ハ、初メノ難キヲ謂フ、

九二、幹母之蠱不可貞

九二剛中ニシテ、上六五ニ應ス、母ノ蠱ニヲモトナリテ、治ムル時中
ヲエテ、ホトヨキカタキニ然レトモ、質ノ剛ニ出テ、クル、母ノ蠱ヲ
取リオサムルニ、貞固ト堅クシテ、バヨクナシ、女ハ柔順ノモノコトニ
我自巽ヒ入ル、貞ナレハ、ホトヨクシテ、是非カクト、堅クスヘカラス、
風ヲ賦シテ、モノ柔カニ、喻スヘシ、○此文、幹ノ最モ難キモノナリ、
傷愛ヲ正クスヘシ、義ノ傷ルコト勿レ、モシ慎マズハ、衛ノ蒯聵ニ效ハ
シ、母、五ヲサス、

九三、幹父之蠱小有悔无大咎

過剛不中ニシテ、シソコナヒアルヘキナレト、巽休ニシテ、人ニ巽フ性
アリ、コトニ一卦正ヲ得タルモノ、四ト我トノ、故ニ小キ、氣毒ハアリト
モ、大ナル咎アルニ至ラシ、○三四五、父トイフハ、皆上ヲサス、悔、過剛
不中ニヨル、无ハ正ニヨル、父ハ母ト異ナリテ、喻ス寸ハ、ヨク義ニ感
故ニ如此ノ右アリ、徒ニ憶フ、周宣、悔ル、一ナキハ、如何、郭子儀、唐

ニ幹タリ此ニ當ン

六四裕父之喪往見各

柔ニシテ陰位陽氣ハ少シモナニ陰性静ナレハ裕リトシテ落付テ
處ルソレ故乱レカ次第ニ深クナリシモ人其所ニ父ノ乱レ又治ニト
スレハ却テ羞ヲエル往見各コレ期ヲ失ヒ病重クナリテ療セント
スルヤフナモノ往トハ事ヲ取サハクフ一各ハエミキルナラス羞ヲ
ウルヲ謂フ戒テ如此ナルヘカラス○裕ハ柔陰位ニアルノ象幹盡
ノ時ニ當テハ卦義ニ背ク故ニ正ヲ得トイヘ凡如此ノ占ニ見ハ思ハ
スシテ忽アルノ卦ハ厚離トスハ○此ノ象ヲ得テニ○ナリ

六五幹父之喪用輿

柔中ニシテ尊位九ニマタ受ルニ中徳ヲ以テスコレヲ以テ喪ヲ
取ナラス幹トナリ材アリトイヘ凡一分ニ事ヲ取立ス皆以テ父ノ切

トニ先祖ノ家ヲ繼テ世昌又世ニ聞テ譽山アルヘキナリ○譽
ハ中ニシテ陽位且離美震声兌口假頤ナリ發揮ニ見フ後漢ノ光
武コレニ當ラニ欽卦ノ元亨ナリ

上九不事王侯高尚其事

人位ヲ離レテ事ノ外ニアリ剛ニシテ則ルキノ象アリカク乱
レタル世ニハ出テ穢シスト言テ天子諸侯ニモ臣トナリテ事ス
伯夷叔齊コレナリ○王ハ五侯ハ九三震主發揮ニ詳カナリ
事ハ即子盡ナリ外地山上ニ在リトイヘ凡事ヲ免ルコト能ハ
ス邇レテ外ニアルモノ即子事ニシテ以テ則ルヘニ高尚ハ上ノ
又象ニ

三三 兌下
三三 坤上

臨ハ進テ物ニ陵キ逼ルコト何ニテモ其場ニユキカルヲ謂フ

爻ヲ以テイハ二剛ヤ、長シテ象柔ニ逼ル柔ハ下テ剛ニ順フ
此悦七彼順テ、我執ニツク又臨ハ上ヨリ下ニ向フヲ謂フ澤上
ニ土アルモ上ヨリ其所ニ向ヒカ、リ夕貌臨之、以壯ノ意又内説
テ外順フモ其事ノコクニ向ヒナリ、都テコレヲイハ、彼此相
順フモノ之、又十二月ノ卦ニシテ陽春ノ端ニ臨テモハヤ泰トナラ
シトス、

臨元亨利貞至于八月有凶

剛下ニ生シテ進ミ升ルニ上ハ柔ナレハツカユルハナシトニ九
二剛ニシテ中ニ居六五ノ中ニアルニ應ヌ君下ヲ惠テ驕ルヲナク
賢臣ニ打マカスミナ相臨テ元亨利貞ノ象各自ラ持前ノ正キヲ
ナシトクヘシコノ徳ヲ失ハスハ誠ニ元亨利貞ノ象各自ラ持前ノ正キヲ
時ニシテ其吉ウキ立力カ如シトイヘ凡八月ニ陰又必長ス吉

往ケハ凶來ル天ノ常ナリ故ニ預メコレヲ知テ元亨利貞ヲ失
ハズ順ミ畏レテ以テ正キ寸ハ或ハ凶ヲサケシ○八月ハ復ノ八月建
酉ノ月ナリ此卦ノ反對觀ヲ謂フ此卦テハ土月冬至ニ陽生
シテヨリ二陽長シテ十二月ナレハモハヤ正月泰平ノ春ニ至ル勢
ニテ君子ノ善道進テ行ハルノ象ナルニ五月復至ニ陰生シテ
姤トナリ六月ニ陰長シテ遯トナリ七月三陰否トナリ八月
四陰觀トナレハ秋声切々トシテ人氣肅マリ悲ム初秋ニテハ
暮秋ニ先タテ盛ナリコレ小人進ミ君子退クノ時凶ナルト直
ナラスヤハ兌月ハ坤陰氣ノ來ルヲ言フ故ニ陰數陰象ヲ用フ
益ノ三日復ノ七日ト相及ヌ又三益卦ヲ以テイハ坤ハ六七月兌
ハ八月ナリ臨ハ六七月ヨリ八月ニ至ルノ卦トスコレマタ復正ノ
皆發揮ニ詳カナリ周ノ八月トスルノ説從ヒカタシ文王西伯トシ

テ殷紂ニ事フ、豈周ノ正朔アラニヤ、一説ニ殷ノ正朔トス、義通スルニ似タリトイヘ、凡卦其對ニ非ス、從フヘカラス、蓋復正建寅、古來相傳ノ時ニシテ、唐虞既コレニ因レリ、商周正朔ヲ改ムトイヘ、凡民間皆コレニ因ル、鄙說、易學示蒙等ニ見フ、一説ニ此卦ノ八月正朔ニヨルニ非ス、唯月ヲ以テ數ルノミト、從フヘカラス、易中、二卦反對ス、隨頌ケハ益トナリ、臨頌ケハ觀トナル、翼象卦變ノ象以テ觀ルキノミ、況ヤ于字意アルヲヤ、學者者知ルヘシ、

初九成臨貞吉

卦中タ、二剛ノミ、偏ク四柔ニ臨ムカ故、初二兩爻共ニ咸臨トス、此爻剛正ニシテ、柔正ニ應スルノミナラス、諸柔共ニ臨ムタ、ソレ正クシテ吉ナルヘシ、咸字、程傳感トス、朱說ヲシクルメテ、殘ラスト、謂フ意、今二剛ノミ、十四柔ニ臨ム、其義ヲ以テ是トス、

九二咸臨吉无不利

剛中ニシテ、柔中ニ應シ、其勢升リ進ム、且諸柔ノ歸スル所故、ニ吉其吉ナルモヤフナシトケサルハナシ、初九貞吉ノ類ニアラス、○臨主ニシテ、諸柔切ニ臨ム、初九ノ九ニヲ隔ルモノニ異ナリ、

六三其臨无攸利既憂之无咎

柔不中正、下ノ上ニ居ソレヲヨキクニ思ヒ、其味ヲ食テ快キ如ク、大ニ悦ヒ臨テ、身ヲ慎マズ、人ヲミコナス、此シカタテハ、何事テモヨキクハナク、无攸利、早クコレヲ、氣毒ナクニ思ヒ、其ンシ樂ムクナク、能ク過ナク改テ、我身持ヲ苦勞ニスレハ、人ニ難セラル、クナカルヘシ、○坤ヲ耳トス、今兌口、數ヲ受ク、憂ハ兌ナリ、不中不正ニヨルミナ發揮ニ見フ、

六四至臨无咎

至トハ春秋公自會至ノ至ノ如シツノ場（行キツクヲ謂フ）
正退キ下テ初九剛正升リ進ムニ應ス至極ノ臨ミカタナリ
故ニ无咎

六五知臨大君之宜吉

柔ニシテ中ヲ得君位ニアリ自分ニ事ヲ取サカス下ニアル賢
臣ヲ用テ打ツカスハ智アルモノニシテ人君王ノ宜キシカタニ此德
ニキ渡テヨシ吉ナリ。○知ハ中ノ象大君ハ天子ノ稱ニシテ五十リ
宣時ニ置クノ宜キ君臣ノ義ナリ又中ニシテ中ニ應シ剛柔
相與スルモノナリ

上六敦臨吉无咎

卦ノ上ニ居臨ノ終リニ居テ初ノヲ顧ミ下ニ臨ム此卦体ニアリテ
敦シトイフモノ吉无咎モノナリサレ陰ハ上ニアレテ其用下ニ
向フ故下ニ臨ムニアツキ意アリ凡テ上ニアルモノハ驕テ下ノ者
ニカマハス高フル者ナル以下ニ臨ムニ敦キヲ以テスト口ノ善ナル
モノナリ。○敦ハ敦復敦艮ノ敦ト同シ今坤トス發揮ニ詳カ
ナリ

三三三 巽上 坤下

觀ハ仰觀ナリ六爻三才ニ配スル寸上ニ爻ヲ天トス剛ヲ光明
トス天ニツノ光明アリ日月並ヒ出ルカ如シ故ニ下民驚テ
仰キ觀ルノ象故ニ觀ト名久内順ヒ外巽ル君民相背カス且
地上ニ風アリ君子ノ徳ハ風小人ノ徳ハ草號令一タヒ下ニ下民
靡キ順フノ象九五剛中正ニシテ尊位ニアリ中正ヲ人ニ示
シテ人ノ爲ニ仰カレ四柔下ニ在テ從ヒ見ルニ上九ヲ剛ニ

シテ九五ノ天子ヲ即ク相維辟公天子穆々タルノ象
觀盥而不薦有孚顒若

盥ハ神ヲ祭ントテ、手ヲ潔クスルノ薦ハ酒食ヲ奉シテ祭ヲ
ナスコト、顒若ハ尊敬ノ貌ナリ、祭リ終テハ其意怠ルケレトモ、今
具ヘモノスル為ニキヲ洗フテ、未タ祭リニ取カ、ラヌ時ノコト
其容恭ク、神ヲ崇ヒウヤマフテ、内ノ孚ニハタルモノナリ、尊
敬ノ至リニ下ミナ仰キ觀テ、悦ヒ從フ語ニ曰、慎終追遠、民
德歸厚ノ象。○此卦八月ニシテ、陰ヤ盛ニナリタルモヤフナレハ
コレ凶キハツナルニ卦ニ名ケ、辭ニイフコトヨキニ取ル象ヲミル
窮リナキモノナリ、且陽ヲ扶ケ、陰ヲ抑フ、聖人化育ヲ
賛テ、易ヲ作ル本旨ナリ。○此卦中良アリテ、全卦厚
良ナリ、良ヲ輝光トシ、門トシ、手トシ、菓トス、坤ヲ穀トシ

平地トシ、衆トシ、多品トシ、養トス、巽ヲ茅トシ、白トシ、入トシ
進退トシ、鬼神トシ、全卦宗廟祭祀ノ象ニ取ル、重門ヲ入り
廟ニ至レハ、地上ニ風アリテ、塵ヲ除ヒ、潔白ヲナシテ、茅ヲ
シキ、菓穀多品アルヲ、手ヲ潔クシ、鬼神ニ對シテ、ハヤ捧ニ
トシテ、進退スルノカタナリ、五剛中實ニシテ、且正シ、コ
レ孚ノアラハレタル象ナリ、孝經曰、孝者德之本、教之所
由生也ト、聖人神道ヲ以テ、教ヲ設テ、礼樂仁義ヲ民ニシク
ア、大ヒナル哉、一説ニ、盥ハ灌ナリ、孔子曰、禘自既灌ト、亦此義
ナリ、王註コレヲ盡セリ、

初六童觀小人无咎君子吝

卦ハ觀示トシ、又ハ觀瞻トシ、皆九五ヲ以テ言フ、此又柔ニシ
テ下ニアリ、人ニ取ヒハ童子、或ハ小人ナリ、此ニツノモノハ見ル

一明ラカナラスシテ、目前ノ一ニモ智働カサルモノ中ノ
昔ヲ学フ一ナラ子ハ末ノ世ノ一ハ思ヒモヨラス行末イカ
ナル一ニ過フモサトラスフレ見ル一ノハツキリトセサルナリ小人
相應ノ一ナレハ无咎モノナリ君子モシ童觀セハ智アリテ
用ヒス吝ムニ似タリ故ニ羞ヲ免レス○童ハ良ナリ又初ノ爻
象君子モ良ニ輝光篤實ヲ以テナリ

六二闚觀利女貞

柔ニシテ位ニアリ内ニ居テ外ヲミル闚ヒミルノ象ナリフレ
女子ニハ相應ナ身待ニテ貞ト謂フヘシ童觀ヨリハ少シ上ラ
リ男子コレヲ得トモ女子ノ貞ヲ執ラハ其事ヲナシトクヘシ
然ラサレハ亦コレ童觀ナラシ○全卦重門ニ其内ニ居テ位
ニアリ宜ク闚觀スヘシ中正ナリ故ニ利ス貞ス

六三觀我生進退

我生トハ我一分ノ身進退ホトヲ見合テ又ケメノナキヤフニ
スル一動作語黙其時處ヲ見合スヘシフレ柔ニシテ陽ノ位
ニ居下ノ上ナレハ知ナクシテヲモ役ヲ仕スルヤフナモノ特ニ上
下内外ノ堺ニシテ大事ノ場ナレハウカトスレハ仕損シカアル
故ニ九五ヲ見スシテ我身ノ取マハシニ意ヲ付ヘシ吉凶ハ進退
ニ隨テナル○我生トハ我身良ナリ進退ハ巽ナリ且卦陰ニ
シテ柔陽位ニアリ進退トイフ所以ナリ坤ハ地ナリ上
卦ヲ天トス艮躬天地ノ中間ニ居テ九五ヲ仰キ觀ルノ象
ナリ

六四觀國之光利用賓于王

六四侯ノ位ニシテ五ニ近ク既門内ニ來ル國王ニ仕進ニ朝礼ヲ

行フモノナリコレヲ賓于王トイフ王師ニナルコトニ取ル又書曰
賓于四門四門穆々如此モ取ルニナ王ノ德輝人一國ニ及フヲミル○
國ハ坤光ハ良賓ハ巽王ハ五ニ十發揮ニ詳カナリ今柔ニシテ陰
位ナレ氏正ヲ得テ上ニ出ツ又上ナレ氏下ニ居巽主ニシテ君王ニ
就從フ如此ナラハ觀ルコト疎薄ナラス能クナシトクヘキモノナリ
○左氏莊公廿二年陳敬仲コレヲ得タリ活例ナリ亦便賢ニ詳
カナリ

九五觀我生君子无咎

剛中正尊位ニシテ上ニ在リ下ノ四柔仰テコレヲミル君子ノ
象ナリ天下ノ治乱君一身ニカル君仁無不仁君義無不義
コトニ尊位ナレハ精惟一元執一敬中ニアラサレハ必咎アラシ○全
卦厚良君子ノ象此又コレヲ主ル又剛ヲ君子トスルノ象也

上九觀其生君子无咎

上九剛ニシテ尊位ノ上ニ居事ノ任ニ當ラサレ氏下ノ者ノ目ヲ
付ル所ニシテ共ニ君子ナレハホ、君王ト其德ヲ同クセサレハ咎ア
ズソレ君子ノ德ハ風ナレハ其瞻視ヲ山宗クセサレハ黎民偃シ
カタシ能ク君子ノ德ヲ勤メハ人ニ難セラルコトアルマシ其ト
イフモ即チ我ナレ氏ニハ衆ノ長五ハ卦ノ主ナレハ主トシテ
係ル所アリ上亦同シトイヘ氏賓位ナリ故ニシカ云フ○君子
ハ五ニ同シ

